

## 実用的で学問的な4領域



社会全体を大きく分けると、  
この4つになると考えました。



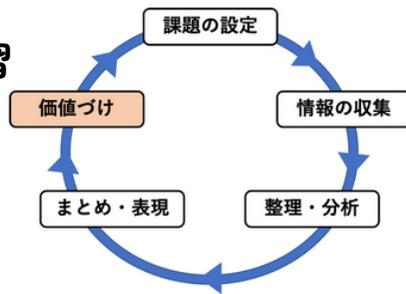
各教科の学びを統合・横断

年間 280時間

8時間/週

午後から、ほとんどが未来探究科です。

意味や価値を  
見出す  
探究学習



総合的な学習の時間（探究サイクル）に  
「価値づけ」の時間を加えました。

## 「未来そうぞう科」との違い

「学習を進める主役が子どもたちである」といった学習の根本が「未来探究科」でも「未来そうぞう科」でも同じなので、似ているところはたくさんあります。そもそも、未来そうぞう科が良くなかったからモデルチェンジしたわけではありません。「未来そうぞう科」の良さをもっと大きくするために、各教科の授業時間数を統合し、よりダイナミックで充実した探究学習へと発展させたのが「未来探究科」です。

「未来そうぞう科」との違いを端的に表すと「各教科の学びを組み込んで、より深く・じっくり学ぶことで、世の中をより良くしようとする事」です。世の中をより良くするためには、実生活・実社会の中で複数の学問的な知識を組み合わせることで発揮し、課題解決に努めることが必要であると考えています。その力を実践的に身につけるのが「未来探究科」です。そのため「探究のふりかえり」で自身の学習を振り返って考える取組や、通知表（あゆみ）で各教科と同じように3段階で評価するところも「未来そうぞう科」と違ってきます。

始まったばかりの研究ですので、まだまだ課題は山積みですが、1つずつ整理して解決し、より充実したカリキュラムと、より良い学習をめざします。そのために、ぜひ先生方の率直なご意見をお聞かせください。一緒に「未来探究科」を創って頂けると嬉しいです。よろしくお願い致します。



大阪教育大学附属平野小学校

住所：大阪市平野区流町1-6-41

電話：06-6709-1230

メール：hirasho@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



ウェブサイト

実用的で  
学問的に学ぶ。



# 未来 探究科

## リフレッシュ

### NO.1



大阪教育大学附属平野小学校

# 未来探究科

## 紹介します



### B領域「自然と共に生きるには」

手回し発電機で実際に発電することを通して、電気エネルギーについて考える。【理科】



#### 6年生「地球温暖化とエネルギー」

地球温暖化の原因である大気汚染問題について調べ、その原因となっている発電等のエネルギー問題について考える。



水道施設の見学から、様々な施設や人々が水循環を支えていることを理解する。【社会科】

#### 4年生「水プロジェクト」

水がどのように届けられ、使った水がどうなるのかを調べ、循環について考え、人や生き物にとって水の大切さについて考える。



ヤギを実際にお世話することを通して、生命の温かさ・大切さを実感する。【道徳科】

#### 2年生「いのちたくさん」

動物を育てていくためには、よりよい環境をつくり、動植物の立場に立って考え続ける愛情や思いやり、責任について考える。



### C領域「生活を豊かにする文化の担い手として」



文化

「大阪名物」とは何か、一人一人が答えをもつために、「大阪市の特色」について考える。【社会科】



#### 3年生「せっかく大阪市に来たんやから」

大阪市の名物について、その文化を体験しながら、受け継いできた人々の想いや願いに触れなが、その価値を伝える。

だしを活用したメニューを調理実習を通して考案する。【家庭科】



#### 5年生「世界に誇る和食文化」

多様化する食文化の中で伝統的な和食文化の価値を捉え、体験したことをもとに関わる人の思いを受け継ぎ、自分の生活に取り入れる。



#### 1年生「あつまれ、あそびの森」

たくさんの遊び体験を通して、共通点を見出していくことで、遊びの意味や遊びの力などを考える。

### A領域「地域社会を豊かにするには」



地域



#### 2年生「平野GO!」

町を探検する活動を通して、好きなものを見つけたり、ものの役割について考えたりすることで、町の魅力について考え、発信する。



#### 5年生「商店街を盛り上げようプロジェクト」

サンアレイ商店街を活性化させるために、自分たちでできることを考え、働きかける。



## 実用的で学問的な4領域



社会全体を大きく分けると、  
この4つになると考えました。

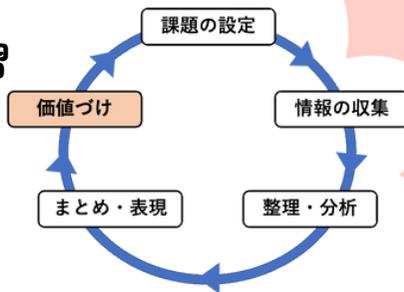


各教科の学びを統合・横断  
年間 280時間

8時間/週

午後から、ほとんどが未来探究科です。

意味や価値を  
見出す  
探究学習



総合的な学習の時間（探究サイクル）に  
「価値づけ」の時間を加えました。

## 「未来そうぞう科」との違い

「学習を進める主役が子どもたちである」といった学習の根本が「未来探究科」でも「未来そうぞう科」でも同じなので、似ているところはたくさんあります。そもそも、未来そうぞう科が良くなかったからモデルチェンジしたわけではありません。「未来そうぞう科」の良さをもっと大きくするために、各教科の授業時間数を統合し、よりダイナミックで充実した探究学習へと発展させたのが「未来探究科」です。

「未来そうぞう科」との違いを端的に表すと「各教科の学びを組み込んで、より深く・じっくり学ぶことで、世の中をより良くしようとする事」です。世の中をより良くするためには、実生活・実社会の中で複数の学問的な知識を組み合わせることで発揮し、課題解決に努めることが必要であると考えています。その力を実践的に身につけるのが「未来探究科」です。そのため「探究のふりかえり」で自身の学習を振り返って考える取組や、通知表（あゆみ）で各教科と同じように3段階で評価するところも「未来そうぞう科」と違ってきます。

始まったばかりの研究ですので、まだまだ課題は山積みですが、1つずつ整理して解決し、より充実したカリキュラムと、より良い学習をめざします。そのために、ぜひ先生方の率直なご意見をお聞かせください。一緒に「未来探究科」を創って頂けると嬉しいです。よろしくお願い致します。

大阪教育大学附属平野小学校

住所：大阪市平野区流町1-6-41

電話：06-6709-1230

メール：hirasho@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



WEBサイト

実用的で  
学問的に学ぶ。



# 未来探究科

## リフレッシュ

### NO.2



大阪教育大学附属平野小学校

# 未来探究科

## どうやって カリキュラムを作るの？

### 1 領域を設定する

社会全体を



地球という「自然」があって成立する社会  
その上で「地域」というコミュニティをつくり  
それぞれの「文化」を発展させて  
誰もが心身そして社会的に「健康」に暮らす  
と捉えて4つの領域を設定しました。



### 2 領域の「本質的な問い」を立てる

A:地域社会を豊かにするには

B:自然と共に生きるには

C:生活を豊かにする文化の担い手として

D:だれもが健康に生きるために

「本質的な問い」

明確な答えがあるわけではなく、生涯にわたって問い直され、  
答えが更新され続けるような問いのこと

### 4 学習内容を規定する

「本質的な問い」・中心概念を踏まえて、6学年の系統（学びのストーリー）である縦糸と、各教科との関連である横糸を交互に織りなすような形で何度も学習内容を検討しました。

たとえば...



**誰もが健康に生きるために** という「本質的な問い」に対して答えるために  
中心概念から学習内容を具体化し6学年の系統をたてます

多様性

対象の社会(集団)には多様な人がいることを理解すること

公平

一人一人の違いを考慮し対象の社会全体(全員)の幸せを願って行動すること

というD領域の中心概念から学習内容を具体化したのが下の表です。

#### D領域の学習内容

	キーワード	人との関わり	対象の社会	単元
6	幸福	共生	地域	平野人権宣言
5	平和			スポーツ&ピース「平野オリンピック」
4	仕事	自立・責任	家庭	カッコいい大人プロジェクト
3	健康			LET'S 健活
2	居場所	自他の認め	学級・学年	自分・家族・大ぼうけん
1	自分			すきすきがいっぱい

これらの学習内容は  
実践をふまえて捉え  
直していきます。



### 3 中心概念を設定する

「本質的な問い」の答えを見出すために社会を  
どのような認識で捉えていくかを考え、6つの  
中心概念を設定しました。

相互性

有限性

多様性

連携

持続

公平



## 実用的で学問的な 4 領域



地域 自然 文化 健康

社会全体を大きく分けると、  
この4つになると考えました。



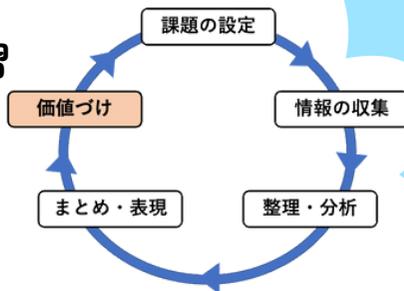
各教科の学びを統合・横断

年間 280 時間

8 時間 / 週

午後から、ほとんどが未来探究科です。

意味や価値を  
見出す  
探究学習



総合的な学習の時間（探究サイクル）に  
「価値づけ」の時間を加えました。

## 子どもたちの声

未来探究科  
実際どう？



### 探究する力が身につく

未来探究科は探究する力を身につけることができる、この学校の独特な素晴らしい授業だと思っています。特に調べ学習を頑張ってきました。B領域では現在世界中の国々が抱えている地球温暖化のことについて学んでいるのですが、その学習では、自分が興味があるということもあって、とても調べようという気持ちになりました。1年間しかできなかったけれども、すごく自分のためにもなったと思います。社会人になっているいろんな疑問も出てくると思うけれども、探究心をもってぐいぐいと解決していけるんじゃないかなと思います。

### 「やりたい！行きたい！」が叶う

未来探究科は私たちの学校だけがやっていて、私たちが「やりたい！行きたい！」って言うと、本当にできたり、行けたりするのが良いところだと思う。自分たちで考えて実際に発表できて、たくさんの人にいろんなことを知ってもらえる良い機会があるところが、未来探究科の好きなところ！



始まったばかりの研究ですので、まだまだ課題は山積みですが、1つずつ整理して解決し、より充実したカリキュラムと、より良い学習をめざします。そのために、ぜひ先生方の率直なご意見をお聞かせください。一緒に「未来探究科」を創って頂けると嬉しいです。よろしくお願い致します。

大阪教育大学附属平野小学校

住所：大阪市平野区流町1-6-41

電話：06-6709-1230

メール：hirasho@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



WEBサイト

実用的で  
学問的に学ぶ。



# 未来 探究科

## リーフレット

### NO.3



大阪教育大学附属平野小学校

# 未来探究科

## どうやって評価するの？

真正の評価観を取り入れた  
パフォーマンス評価

未来探究科で  
育てたい子ども像

社会や集団の形成者としての自覚と責任をもち

多様な見方で物事を深く考える子ども

資質・能力

価値

概念

方略

探究に向かう力

創造する力

### 自己評価(ふりかえり) + フィードバック面談

- ① 児童が「プロジェクトのあゆみ」をもとに学び(成長)を自己評価する
- ② 教師と児童(1人または複数名)で「フィードバック面談」を行い、互いの学び(成長)を語り合う
- ③ 児童が「プロジェクトのあゆみ」で自己評価を捉え直す

### 児童の姿・成果物

各教科の資質・能力を発揮できる  
ようなパフォーマンス課題

### 探究のふりかえり

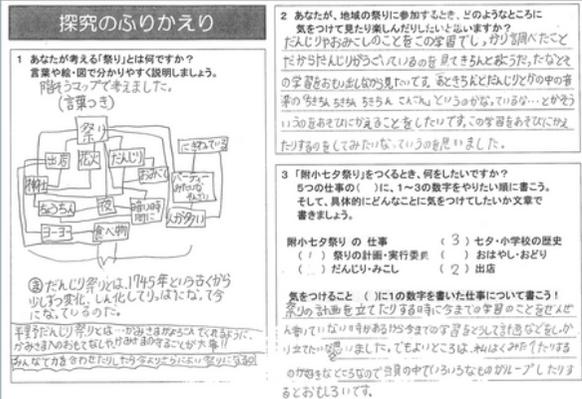
プロジェクトの学びを自分なりに  
文章で表出する

		自己評価			
		4	3	2	1
探究に向かう力	1. 「附小お笑いフェスタ」に向けて、一生けん命に練習できた。【一人で考える】	4	3	2	1
	2. 「附小お笑いフェスタ」本番やそれに向かう練習では、友だちの良いところをたくさん見つけて伝えることができた。【人と考える】	4	3	2	1
	3. 学習のふりかえりや作文では、活動から考えたことや自分の成長をくわしく書くことができた。【最後までやりぬく】	4	3	2	1
	4. 「笑い文化」を通じて、人との仲が深めることができた。	4	3	2	1
創造する力	5. 「落語・漫才・新喜劇」の中で、言葉や表現の仕方を面白くすることができた。	4	3	2	1
	6. 「落語・漫才・新喜劇」の中で、自分らしさを表現することができた。	4	3	2	1
	7. 「笑い文化」の良さに気づき、生活の中で活かすことができそうだ。	4	3	2	1

4年C領域 プロジェクトのあゆみ

フィードバック面談

前より走るのが速くなったし、遊びを深めることができたし、楽しかったよ!



4年A領域  
探究のふりかえり

Q A

### Q 概念・方略ってなんですか？

#### 概念

「概念」とは物事を認識するための見方であり、中心概念を核にネットワーク化された知識の集合体のことです。「本質的な問い」に対する答えを見出すために必要な知識の集合体ともいえます。

#### 方略

「方略」とは文脈に合わせて自覚的・意図的に活用できる(スキルを含む)思考力・判断力・表現力の総体のことです。

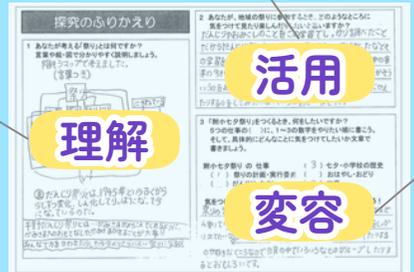
### Q 「探究のふりかえり」って？

【概念の理解・概念の活用(実用化)・行動の変容】の3つの視点を取り入れて作成します。

プロジェクトの最後ではなく、探究を進める中で一定の価値・概念・方略が身につくと想定できる場面(最終サイクルに入る直前・学びを活かしてアプローチする直前など)に実施します。単元途中で子ども自身が修正し、自分の変容に気づく手立てとしています。

学んだことを実生活・実社会でどのように使おうとしているか

言葉や絵・図を使って、理解したことを説明できるか



具体的な行動にうつそうとしているか



用語が難しい...